

補聴器を購入する前に

スペシャルムービー公開中

ムービーはこちらから
www.jhida.org/movie/



STORY 1

聞こえにくいと感じたら

最近お母さん、呼んでも返事をしてくれないことが増えてる。もしかしたら、歳のせいで、耳が遠くなってるのかな？それとも、まさか耳の病気じゃないよね？ちょっと心配です。



娘：(やっぱりお母さんおかしい...)

STORY 2

専門医に相談しよう

今日はついに耳鼻科で受診の日。わからないことも多いから、先生にいろいろと耳のことを相談してみようと思います！



母：最近、会話が聞こえにくい時があるんです

STORY 3

はじめての補聴器

耳鼻科の先生に診てもらってから、お母さんも少しほっとしてるみたい。今日は初めて補聴器販売店へ行ってきます。



娘：あ、ここだわ お母さん

STORY 4

安心して使い続けるために

母は補聴器をつけ始めてとても明るくなってきたけど、まだ聞き取りづらい部分があるみたいで、今日はそれを調整に。この調整がとても大切な作業になるみたいです。



母・娘：ありがとうございました

補聴器販売者の技能向上研修等事業



JHIDA
JAPAN HEARING INSTRUMENTS DISTRIBUTORS ASSOCIATION

「聞こえにくい」と感じている方へ

はじめての補聴器

実践編

第1版

安心して補聴器を購入していただくために



発行者

JHIDA
JAPAN HEARING INSTRUMENTS DISTRIBUTORS ASSOCIATION

一般社団法人

日本補聴器販売店協会

協会サイトはこちらから
(www.jhida.org)



〒101-0047 東京都千代田区内神田2-11-1 島田ビル6F

この冊子は、厚生労働省医政局より「令和4年度 補聴器販売者の技能向上研修等事業」の委託を受けて作成したものである。

一般社団法人 日本補聴器販売店協会

目次

1. 聞こえの基礎知識

聞こえの仕組みと難聴の種類	……………P3
高齢者と難聴の状況	……………P5
補聴器購入の流れ	……………P7

2. 耳鼻科に相談しよう

なぜ耳鼻科の受診が必要なのか?	……………P9
耳鼻科ではどのようなことをするのか?	……………P10

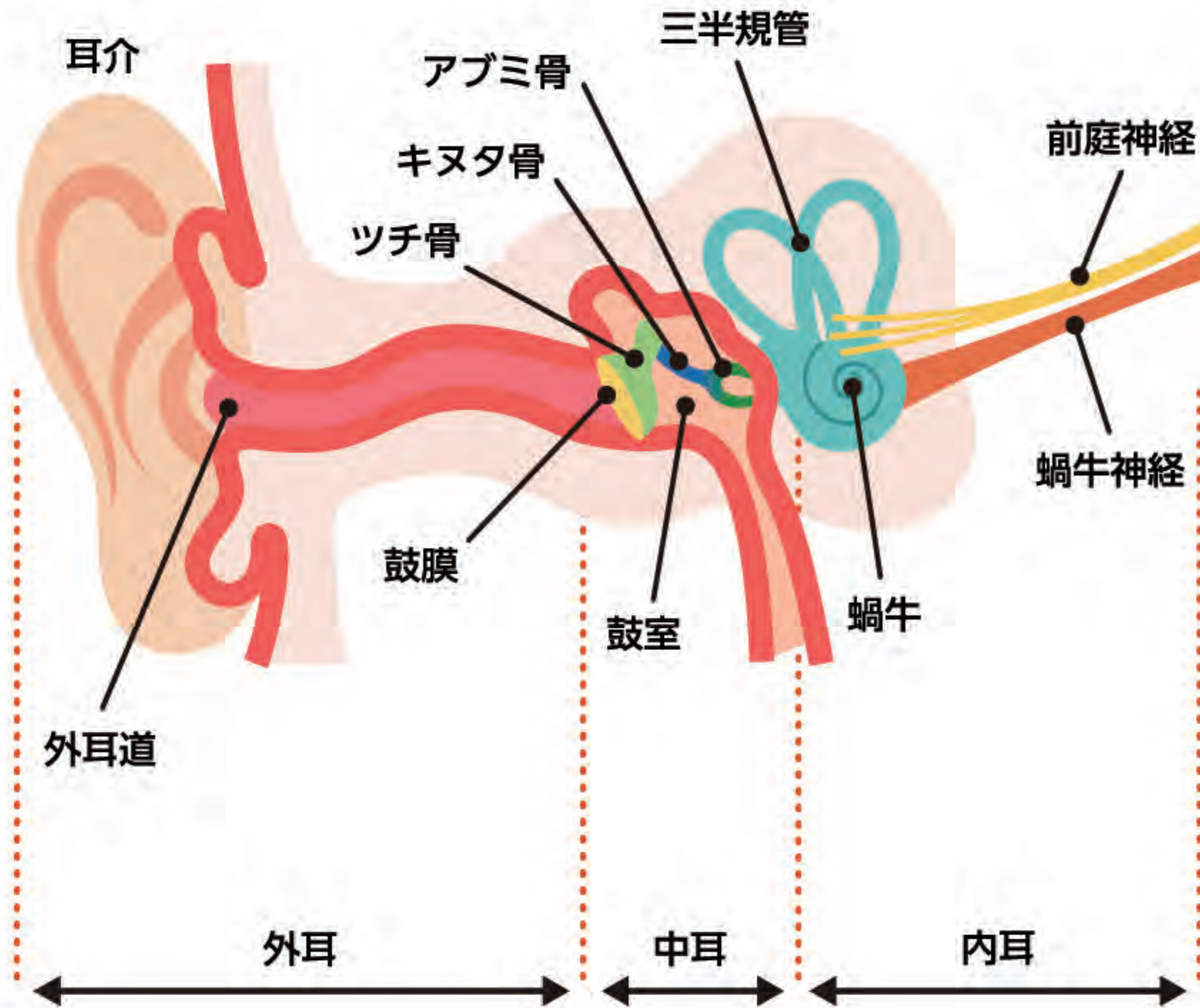


3. 補聴器販売店へ行ってみよう

補聴器販売店に行く前に現状把握をしよう	……………P15
認定補聴器技能者と一緒に目標達成しましょう	……………P17
販売店ではどのようなことをするのか?	……………P19
公的な支援制度について	……………P25
補聴器のタイプ	……………P26
補聴器の価格の差で何が変わる?	……………P27
補聴器の代表的な機能の紹介	……………P28
継続的にご使用いただくために	……………P31
アフターケア	……………P33



聞こえの仕組みと難聴の種類



伝音難聴

感音難聴

混合性難聴

人間の耳は、外耳・中耳・内耳の3つの部分から成り立っています。外耳から入った音は鼓膜に達し、中耳のツチ骨・キヌタ骨・アブミ骨によって、内耳に伝えられます。音の信号は、蝸牛の有毛細胞によって電気信号に変換され、脳に送られます。このように、耳の各器官がそれぞれの役割を果たすことで、音をきちんと聞きとることができます。耳のどこに原因があるかで、難聴の種類や程度が異なります。

伝音難聴

外耳や中耳の損傷や炎症などで音の伝わりが障害されて起こります。

感音難聴

蝸牛・聴神経・脳などの機能低下によって起こります。年齢が進むにつれ、または大きな音を聞きすぎたりすると、蝸牛の有毛細胞や神経の数が減少するなどして機能が低下します。小さな音が聞き取りにくい、音の区別が難しくなる、聞こえても言葉の意味がわからない、などの症状が現れます。

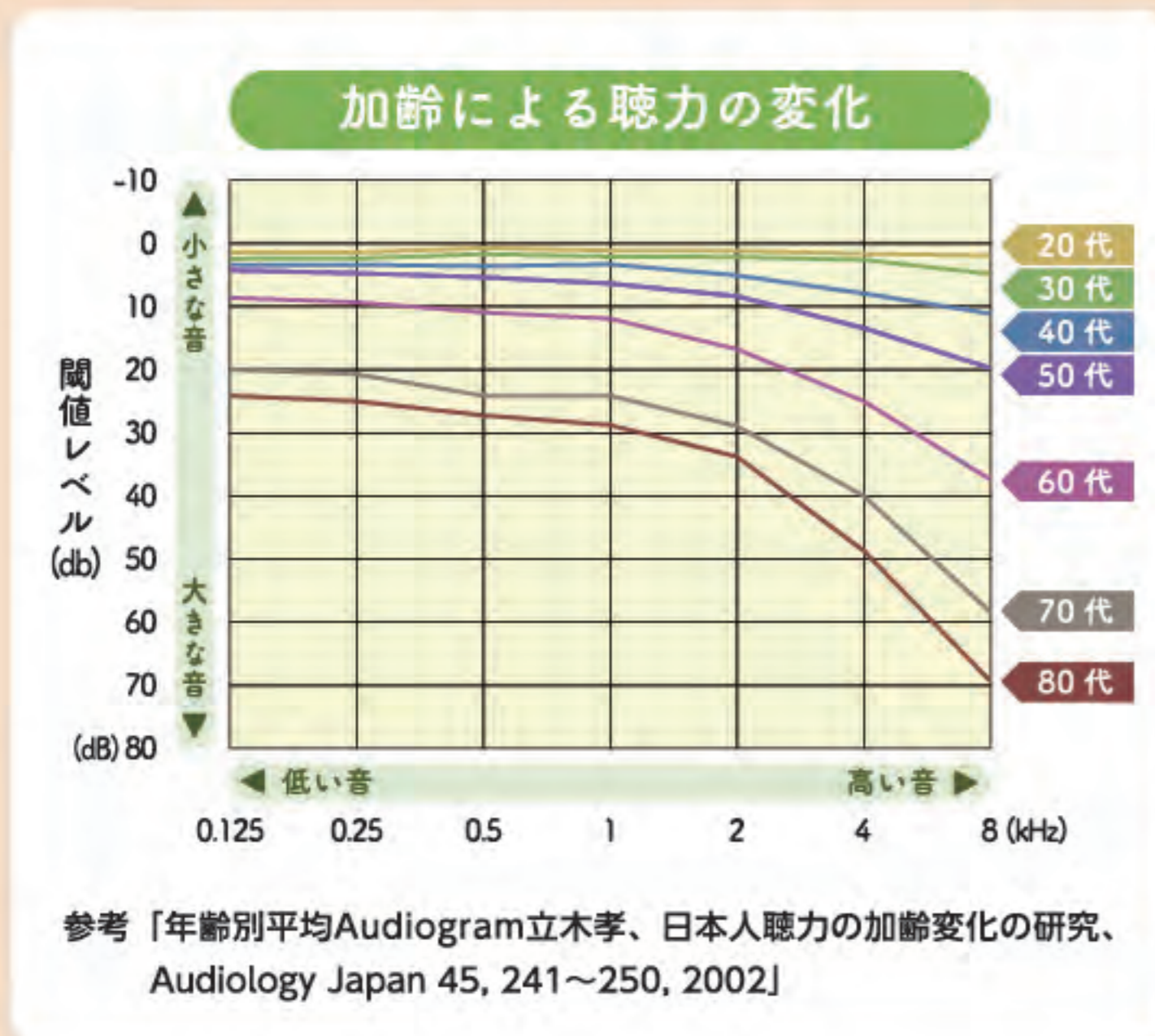
混合性難聴

例えば中耳炎による伝音難聴と加齢に伴う感音難聴がある場合は、両者を合わせた症状が現れます。

高齢者と難聴の状況

加齢と共に聴覚機能が徐々に低下する感音難聴で、30代からゆっくりと進んでいきます。聴力検査では一般的に高い音から聞き取りが悪くなっていくことが特徴です。

純粋な音に比べて、話し声の区別がつきにくくなります。



治療によって回復させることが困難なため補聴器の装用などで対応する必要があります。

加齢に伴い次の4つの聴覚機能は徐々に低下していきます。

1 耳の感度

(どの位小さな音まで聞くことができるか)

低下すると小さな音が聞こえにくくなります。聞こえにくさは音の高さ(周波数)によって異なります。

2 語音弁別能力

(「言葉」がどれくらい聞き取れるか)

低下すると聞き間違えたり、聞こえていても何を話しているのかわからなくなります。

3 周波数弁別能力

(音の高さの違いがどれくらい区別できるか)

低下すると音の高さの違いが分かりにくくなり、言葉の聞き取りに影響を与えます。

4 時間分解能力

(時間と共に変化する音の大きさ、周波数の違いがどれくらいわかるか)

低下すると音と音の区別が難しくなり、言葉の聞き取りに影響を与えます。



● 加齢性難聴と認知機能

自動車の音が聞こえず、ぶつかりそうになるなど危険な場面に遭遇したり、電話の呼び出し音や玄関のチャイムが気づかなくなるなど周囲の状況を把握することも難しくなります。さらに高齢になると聴覚以外に視覚や運動能力の低下などもおこってくるため、難聴に伴う認知機能の低下の影響は大きくなります。

● 加齢性難聴と行動障害

周囲とのコミュニケーションがとりにくくなると、いらだち、不安、孤独感といったように精神的な悪影響を受けやすくなります。このような精神的なストレスがあると会話によるコミュニケーションを自ら避けたり外出を控えるようになり、行動は制限されてしまいます。



補聴器購入の流れ

ステップ1 耳鼻咽喉科(補聴器相談医)を受診

難聴の診断・治療。
補聴器が必要か、また効果があるかを診断。

ステップ2 補聴器販売店(認定補聴器技能者)に相談・購入

カウンセリングを受け、補聴器を適切に調整してもらい自分にあった補聴器を購入しましょう。

**ステップ3** 補聴器は購入しただけで終わりではありません

日常生活で補聴器を使用し、聞こえに不具合など感じる事があれば補聴器販売店で再度調整をしてもらいましょう。

ステップ4 定期的なアフターケア

購入後も、アドバイスや調整等のアフターケアを受け、トレーニングを行い、自分にあった補聴器にしていきます。



ポイント

- 1 難聴は自分では気づかないことがあります。
- 2 すぐに補聴器を買いにいかず、まずは耳鼻咽喉科(補聴器相談医)を受診しましょう。
- 3 医師の話をしっかりと聞くために、家族と一緒に受診しましょう。



動画もチェック

なぜ耳鼻科の受診が必要なのか?

耳鼻咽喉科医(補聴器相談医)の診察を受けずに補聴器を購入した方の中には、治療が必要であったり、適した補聴器をつけていない場合があります。

治療が必要であった場合は補聴器を使用することで診断が遅れ病気が進行することがあります。

耳鼻咽喉科では治療で回復する難聴に対しては治療を行い、回復が難しい難聴に対しては補聴器が必要なのかどうかを診断します。

補聴器が必要と診断されると、適切なカウンセリングと調整を行うことのできる専門の知識・技能をもった認定補聴器技能者がいる認定補聴器専門店に紹介します。

耳鼻科ではどのようなことをするのか? ①

- 難聴の原因や程度を診断します。
- 外耳、中耳に異常が無いか、耳鏡を通して検査します。
- 聴力検査で、音の聞き取り、言葉の聞き取りなどを評価します。



● 純音聴力検査

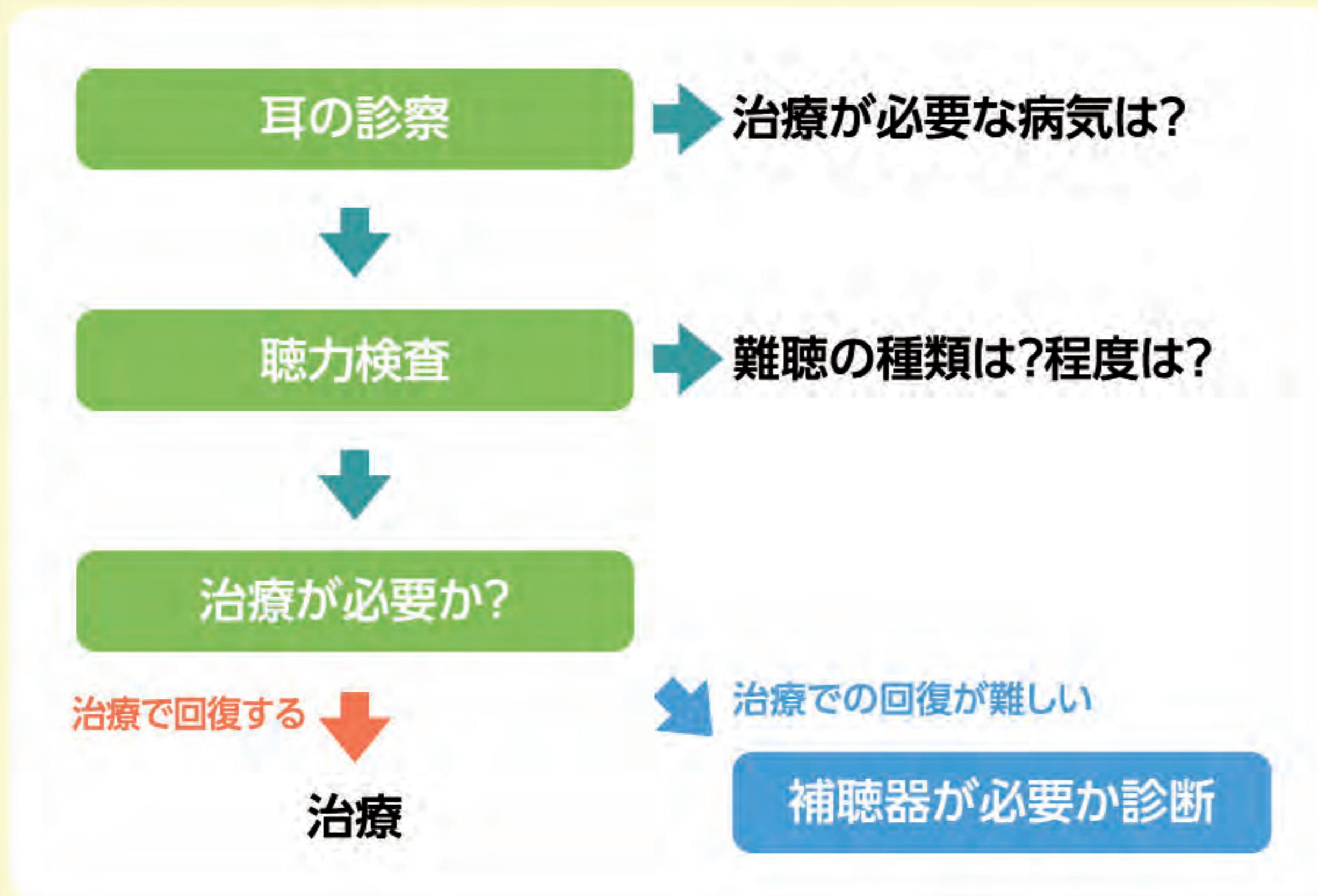
どの程度小さな音まで聞こえるか、音の高さを変えながら、耳の感度を測定します。

● 語音聴力検査

どれぐらい言葉が聞き分けることができるか、語音弁別能力を評価します。



- 治療が必要な疾患があれば、あるいは治療で聴力が回復するのであれば治療します。



耳鼻科ではどのようなことをするのか? ②

- 治療で回復が難しく補聴器が必要と診断されたときは、「認定補聴器専門店」及び「認定補聴器技能者」在籍店を紹介します。
 - 補聴器の選択や調整に必要な情報を記載した「診療情報提供書」を発行します。
- ※ 補聴器購入費の医療費控除を受ける際は、「診療情報提供書」が必要です。

ポイント

- 1 自己判断せずにまずは耳鼻咽喉科(補聴器相談医)を受診し難聴の診断をしてもらいましょう。
- 2 補聴器が必要な場合には、補聴器販売店(認定補聴器技能者)を紹介してもらえます。
- 3 診療情報提供書によって、補聴器購入費の医療費控除を受けられる場合があります。補聴器相談医にご相談ください。



動画もチェック

補聴器相談医とは?

補聴器相談医とは、難聴の患者さんが適切な補聴器を利用できるように、日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会が委嘱した医師です。耳の状態を診察し聴力検査を行い、難聴の種類を診断します。補聴器の必要があれば専門の補聴器販売店(認定補聴器技能者)を紹介、連携してその人に合った補聴器を選びます。また、補聴器が決まった後も、経過観察を行い、適切な補聴器の使い方などの指導も行っていきます。

もっと詳しく知りたい方はこちら

■ 一般社団法人日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会 ホームページ
www.jibika.or.jp/modules/specialist/index.php?content_id=3



認定補聴器技能者とは？

認定補聴器技能者とは、公益財団法人テクノエイド協会が認定している、補聴器を購入される方の使用目的、使用環境、希望価格等についてのご相談に応じ、補聴器の適合調整、補聴効果の確認及び使用指導を適切に行うことのできる、専門的な知識及び技能を習得した補聴器適合の専門の資格です。



● 養成課程のステップ

① 第I期養成課程

第1年度

- **eラーニング**：学科 20課目、46時限の講義(1時限=45分)
インターネットにより、自宅等で学習します。各講習課目の最後に設けられた問題で、履修の程度を自分で確認できます。講習課目は、補聴器販売、聴覚生理、難聴病理、音声学、補聴器音響学、補聴器の種類と構造や特性測定、高齢者難聴者の心理とリハビリテーション等です。
- **スクーリング**：7 時限の講義、6時限の実習の集合講習(2日間)
講習課目は、職業倫理、補聴器フィッティングのための聴力測定、補聴効果評価法、耳型採取等です。

② 第II期養成課程

第2年度

- **学科 21課目、44時限の集合講習(5日間)**
講習課目は、医事法規、医療倫理、高齢者や難聴者の心理、聴覚検査法、補聴器に関する知識や調整、補聴効果の評価とカウンセリング、販売現場の管理業務、症例検討等です。



③ 第III期養成課程

第3年度

- **学科5課目、16時限の実技実習に関する集合講習(2日間)**
講習課目は、医事・薬事等関係法規の理解の確認、補聴器フィッティングのための聴力測定、耳型採取、補聴器の選択と調整、衛生管理等です。

④ 第IV期養成課程

第4年度

- **学科 5課目、5時限の集合講習(1日)**
5課目、5時限の補聴器の安全で効果的な供給・使用の推進を目的とした補聴器関係団体や医学会の活動等に関する集合講習です。



もっと詳しく知りたい方はこちら

- 公益財団法人テクノエイド協会 ホームページ
www.techno-aids.or.jp/senmon/hocho.shtml



認定補聴器専門店とは？

認定補聴器専門店とは、公益財団法人テクノエイド協会が認定している補聴器販売店で、認定補聴器技能者が在籍し、補聴器の調整・選定に必要な測定機器や設備について認定審査基準を満たした販売店です。



「認定補聴器専門店」のマーク

補聴器販売店に行く前に現状把握をしよう

認定補聴器技能者や販売店と現状を共有するために、下記の項目をチェックしてみましょう!

質問

● 当てはまるものにチェックしてください

- 聞こえにくくてどんな時にお困りですか?
 - 会話 会議・会合 講演会
 - テレビ ラジオ 電話 その他
- 聞こえにくさを感じはじめたのは?
 - ()年前頃から
 - 両耳 右耳 左耳
- 今回補聴器を求めたきっかけは?
 - 自分から
 - 勧められて
 - (家族 医師 知人 その他)
- 同居のご家族はいますか?
 - ひとり 父・母 夫・妻
 - 息子・娘 孫 その他
- お仕事はしていますか?
 - している していない
- 補聴器の使用経験は?
 - ない ある
- 聞こえに変化を感じたのは?
 - ()年前頃から
 - 両耳 右耳 左耳
- 病院(耳鼻咽喉科)へ行きましたか?
 - はい いいえ

自分の目標を立ててみよう

補聴器に期待すること、補聴器で改善したいことを具体的に書いてみましょう。



認定補聴器技能者と一緒に目標達成しましょう

認定補聴器技能者が
目標達成のためのステップを
お手伝いします。



現状の課題

テレビが聞こえない
電話が聞きづらい



ステップ 1

補聴器を着けて
不快感のない程度に
音に慣れる



徐々にステップアップできるように
一緒に進んでいきましょう



ステップ 3

家族や友人の集まりに
出かけて会話をする



達成したい
目標

趣味のダンスを
再開したい



ステップ 2

1対1の会話や散歩、
ウォーキングをする



道のりは人それぞれ



販売店ではどのようなことをするのか? ①

禁忌8項目とは

はじめに補聴器販売店では、医師の診察が必要か、補聴器を販売していいのかを判断するために、次のような8項目を確認をします。この項目に一つでも当てはまる場合や初めて補聴器を購入する場合は、まず補聴器相談医のいる耳鼻咽喉科の受診をおすすめしています。また、診療情報提供書をお持ちの方は販売店へご提出ください。

禁 忌 8 項 目

下記8項目のうちいずれかに該当する場合は必ず耳鼻咽喉科(補聴器相談医)の受診をお願いします。

- 耳の手術を受けたことがある。
- 最近3ヶ月以内に耳漏があった。
- 最近2ヶ月以内に聴力が低下した。
- 最近1ヶ月以内に急に耳鳴りが大きくなった。
- 外耳道に痛みまたは、かゆみがある。
- 耳あかが多くたまっている。
- 聴力測定の結果、平均聴力の左右差が25dB以上ある。
- 聴力測定の結果、500、1,000、2,000Hzの聴力に20dB以上の気骨導差がある。

一般社団法人 日本補聴器販売店協会 制定

一般社団法人日本補聴器販売店協会

私たち販売店協会は、禁忌8項目や自主ガイドライン等を制定し、聞こえでお困りの方に補聴器の効果を最大限に享受していただけるよう、安全で安心できるサービスを提供しています。

補聴器をご購入の際は、補聴器販売店協会加盟店でご購入下さい!!



もっと詳しく知りたい方はこちら

■ 協会加盟店舗検索ホームページ

www.jhida.org/search/index.php



加盟店はこのマークが目印



認定補聴器専門店や認定補聴器技能者在籍の有無を調べられます。

販売店ではどのようなことをするのか? ②

1 事前のカウンセリング

耳鼻咽喉科で発行された診療情報提供書の内容を確認し、補聴器を使用したいと思った動機、聞こえにくさを感じる場面などを聞いて目標を設定します。



2 聞こえの測定

(耳鼻咽喉科からのデータが無い場合)

音の聞こえやことばの聞き取りの測定を行います。

音の聞こえの測定



ことばの聞き取りの測定

ことばの聞こえ方検査用紙 (語音弁別検査) / 67-S語表用
 氏名 ○○○○ 検査日 99年4月6日検査
 検査耳 右耳 左耳 語音弁別能 75dBにて60%

きこえた通り横に書いて下さい

第1表	呈示レベル 90 dB	マスキング 50 dB	語音明瞭度 55%						
	あ	さ	し	に	よ	じ	う	く	や
	や	は	り	あ	お	て	や	わ	と
第2表	呈示レベル 75 dB	マスキング 35 dB	語音明瞭度 60%						
	さ	あ	よ	は	り	は	て	わ	あ
	あ	し	に	じ	く	や	り	お	と
第3表	呈示レベル 60 dB	マスキング 20 dB	語音明瞭度 25%						
	に				や	く	じ	や	
	お	や	は	り	あ	て	と	わ	あ
第4表	呈示レベル 45 dB	マスキング	語音明瞭度 0%						

ことばの聞き取り用紙

3 補聴器の選択

カウンセリングの内容、聞こえの測定結果、補聴器に対する希望や予算などを考慮し、複数の補聴器から適した機種を選択します。



耳かけ型・耳あな型補聴器各種

4 補聴器の調整

補聴器は、使用者の聴力や使用環境に合わせて細かく調節をすることができます。また、実際の生活環境で言葉が聞きとれるように、機能やプログラムを使って調整します。補聴器を上手に活用できるようになるには使用トレーニングや、何度かの調整が必要です。

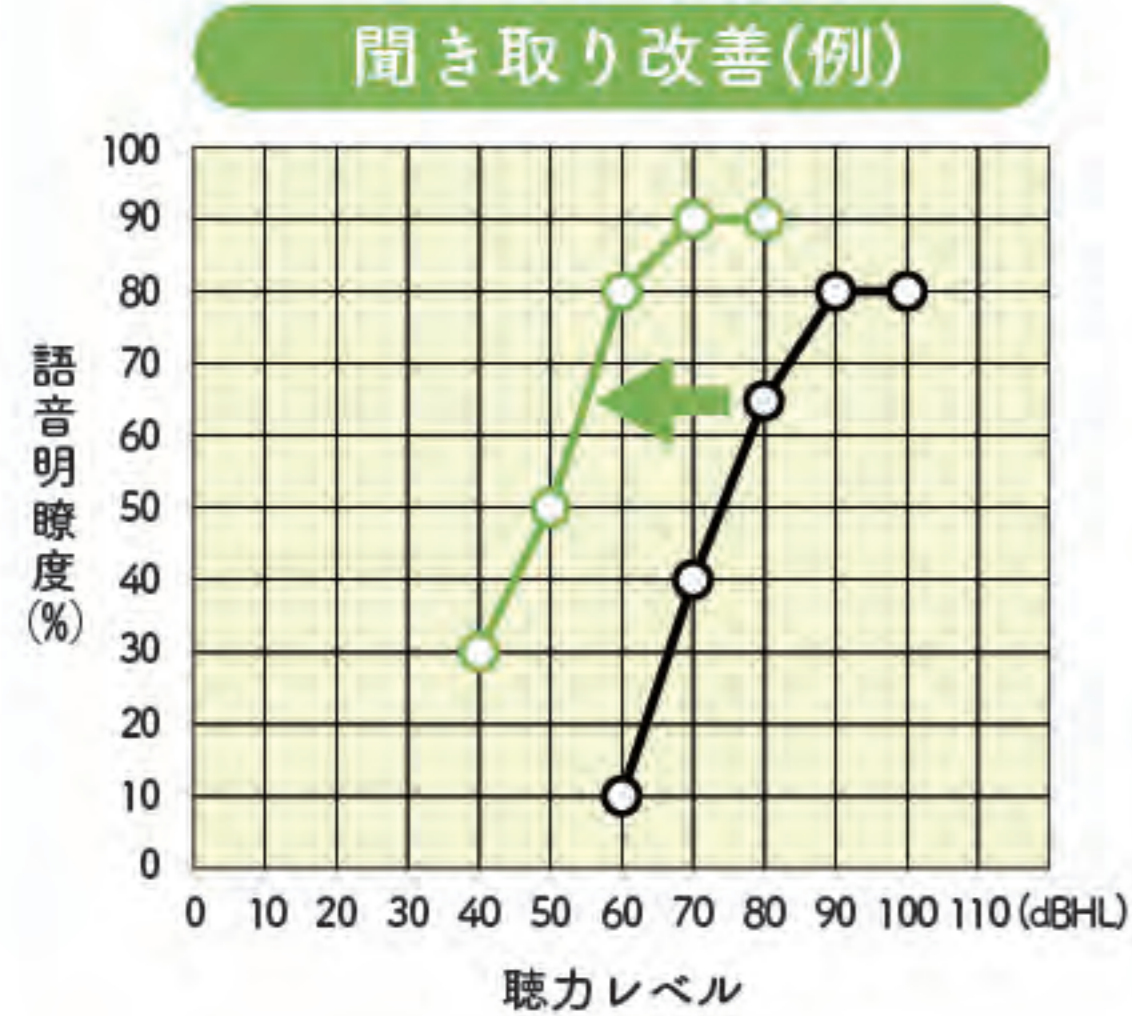


販売店ではどのようなことをするのか? ③

5 補聴効果の確認

補聴器を装用した状態での聞こえの測定を行い、適切な効果が得られているかを確認します。

補聴効果を確認することによって、補聴器装用者が持っている聞こえの力を十分に引き出すことができているか、また、正しく補聴器が調整ができているかを確認することができます。



音場測定の様子

6 アフターケア

使用状況を確認し、補聴器の再調整や効果の確認を行います。ご本人やご家族へ補聴器を上手に使っていただくためのトレーニングを行います。

定期メンテナンスや日頃の使用に関するアドバイスをします。

認定補聴器技能者との二人三脚でより良い聞こえを目指しましょう!

補聴器の「調整」

補聴器の「測定」



補聴効果の「確認」



ポイント

- 1 認定補聴器技能者が在籍する販売店を選びましょう。
- 2 何に困っているかをメモにとって、しっかりと認定補聴器技能者と相談しましょう。
- 3 販売店にはご家族と一緒にいきましょう。



動画もチェック

公的な支援制度について

聴力レベルによっては身体障害者手帳が交付されます。補聴器は障害者総合支援法で定められている補装具なので、支給基準に該当すると判定された場合は、購入・修理の費用が支給されます。また、支給基準に当てはまらない方でも、お住いの市区町村に補聴器購入を助成する制度がある場合があります。まずは、居住する市町村の窓口にお問い合わせ下さい。

聴力の低下 → 各自治体の補聴器購入費助成制度

医療機関の受診

身体障害者の認定

1. 両耳の聴力レベルがそれぞれ70デシベル以上のもの
2. 片方の耳の聴力レベルが90デシベル以上、もう片方の耳の聴力レベルが50デシベル以上のもの
3. 両耳による普通話声の語音明瞭度が50パーセント以下のもの

補装具(補聴器)費の支給



補聴器のタイプ

耳かけ型

価格帯:約50,000~700,000円



- デザイン、カラーが豊富。
- 耳あな型に比べ操作が簡単。
- 幅広い聴力に適応できる。

耳あな型(オーダーメイド)

価格帯:約100,000~700,000円



- 小型軽量で目立ちにくい。
- 耳の形に合わせて作るのでズレにくい。
- 汗の影響を受けにくい。

ポケット型

価格帯:約30,000~120,000円



- スイッチやボリュームが比較的大きく、操作が簡単。
- 一般的な乾電池が使える。

補聴器の価格の差で何が変わる?

まわりの雑音を自動的に抑制する機能や、ハウリング(ピーピー音)を抑える機能については、平均的な価格帯の補聴器には基本的に搭載されています。

より自然に聞こえる機能、そして、一人ひとりの聴力にあわせて音質をきめ細かく調整できる機能などは、その機能が高性能になればなるほど、高額な価格帯になっていきます。

しかし、補聴器を購入される場合は、価格よりもお使いになる方の「聞こえ」の程度と「使用目的」にあった機種を選ぶことをおすすめします。



補聴器の代表的な機能の紹介 ①

● 雑音対策処理

定常雑音(エアコン雑音など)・非定常雑音(交通騒音、機械音など)や衝撃音、風雑音を抑制する機能です。



● ハウリング抑圧処理

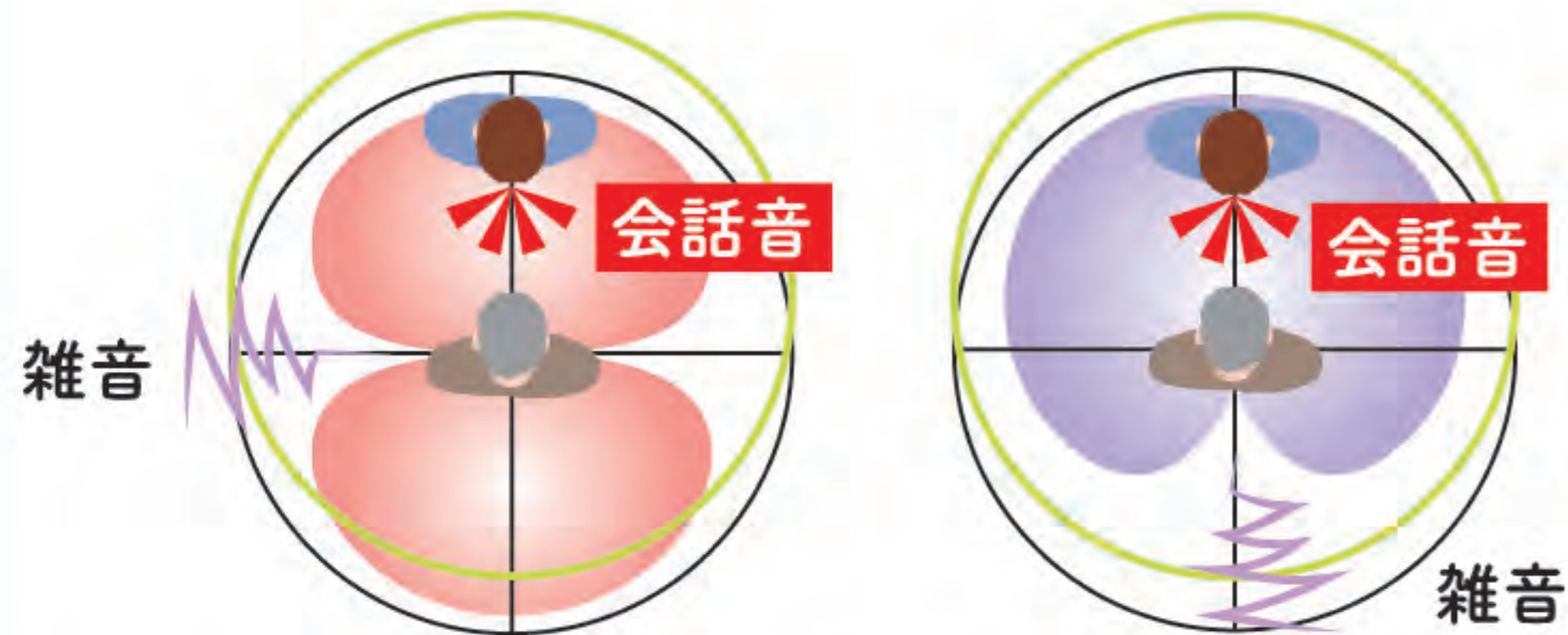
ハウリングとはイヤホンから出力された音がマイクに帰って再び増幅され、これが繰り返されて起こる現象で、補聴器を装用したとき聞こえるピーピー音のことを言います。ハウリング抑圧処理の機能によってイヤホンからマイクへ帰る音を打ち消して、ハウリングが起こりにくくする機能です。

補聴器の代表的な機能の紹介 ②

● 指向性処理

周囲の雑音を抑え正面の会話音声を聞き取りやすくする機能です。

指向性のイメージ



雑音を抑え、色のついている範囲の音(会話音)を聞き取りやすくします。

● 自動プログラム切り替え機能

「静かなところで話す場合」、「うるさい場所で話す場合」や「音楽を聞くととき」など、この機能がついている機種になると補聴器が音の特徴を統計的に分析して、その環境に適したプログラムに自動的に切り替えます。

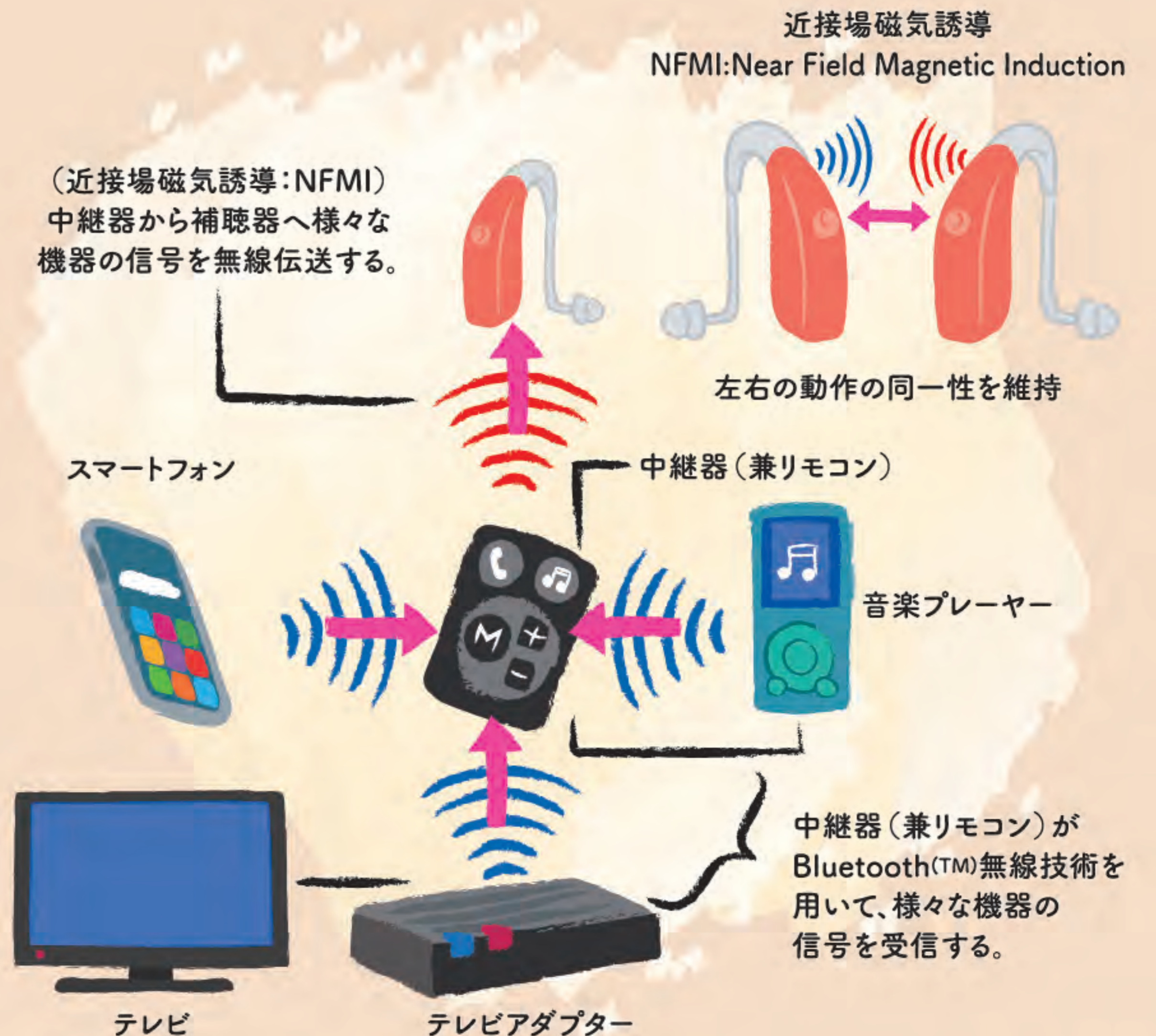
● チャンネル・バンド数

チャンネル・バンドの数が多いほうが各帯域で増幅や圧縮ができるので複雑なオーディオグラムにも合わせやすくなります。

補聴器の代表的な機能の紹介 ③

● デジタルワイヤレス通信

左右の補聴器同士の通信による両耳連携や手元のリモコンを通じて補聴器の操作を可能にします。また、テレビや電話、音楽等の音を伝えることもできる機能です。



継続的にご使用いただくために

いろいろな場面で使用して装用に問題がないか確かめてみましょう

- ① 静かな場所で、時計の音、チャイムの音の確認をする
- ② 本や新聞を声を出して読み、自分の声のきこえ方を確認する
- ③ 静かな場所で1対1の会話を試す
- ④ 静かな場所で4～5人の会話の中で誰が話しているか、内容が聞き取れるかを試す
- ⑤ 静かな屋外で様々な音の中での会話をする
- ⑥ ショッピングセンターなどでBGM、案内アナウンスの中で音を聞いたり会話をする
- ⑦ 大勢の集まる会合・会議の中で相手の声が聞き取れるかを試す
- ⑧ 車や電車の中で会話が聞き取れるか



メモ

気づいたことをメモしておいて、次回訪問時に相談しましょう。

例えば...

- 会話の聞き取りはどうか？
- 騒音などの感じ方は？
- 食器の当たる音や新聞紙の擦れる音は？
- 自声のこもり・ひびきは？
- 耳せんのフィット感は？



アフターケア

補聴器を使い始めると装用開始時には気づかなかったことや装用を継続していくことで、さまざまな影響により聞こえの変化が生じることがあります。定期的に補聴器販売店に来店して、気になったことなどを認定補聴器技能者に相談しましょう。



日常生活の中で補聴器の効果を十分に発揮してもらうためには、家族や周囲の方の応援が大切です。補聴器への装用意欲が高まるよう、会話の楽しさを実感できるような配慮も必要です。

補聴器は日頃のお手入れも重要です。一日使用し終わったら、耳せんや補聴器を拭き、音の出口(音口部)をブラッシングして、乾燥ケースで保管してください。

補聴器装用者と会話する時の工夫

- ① 話しかける前に少し注意を促す
- ② できるだけ正面から話しかける
- ③ 相手に近づいて会話をする
- ④ 相手の口元や顔を見ながら会話をする
- ⑤ ゆっくり、はっきり、言葉を区切りすぎず、句読点を目安に間をおいて話す
- ⑥ 普通の声の大きさと話す(大きな声は逆効果)
- ⑦ 話題を急に変えない
- ⑧ 話しの内容が理解されているか確認しながら話す
- ⑨ 周囲の雑音や騒音をできるだけ小さくする



ポイント

- ① 定期的に耳鼻咽喉科(補聴器相談医)の受診や認定補聴器技能者に相談しましょう。
- ② 補聴器の効果を十分に発揮するためには、家族や周囲の配慮や応援も重要です。
- ③ 補聴器を長く使っていただくためには、日頃のお手入れや販売店での定期的なメンテナンスが必要です。



動画もチェック